ヤギの相談室

今井　明夫（新潟県ヤギネットワーク）
新出　昭吾（ヤギネットワークひろしま）

ヤギを飼っているとさまざまな問題にぶつかります。そんな時は相談室に問い合わせてください。できるだけわかりやすく説明するつもりですが、時には飼い主さんに厳しいことを言うかもしれません。ヤギと人が一緒に楽しく暮らしていくために、ヤギの気持ちになってメエー語を理解しましょう。

相談先：今井 明夫　E-mail：a-imai@ruby.plala.or.jp　　Fax：0256-46-4707

相談事項：（2019-1）５歳になるザーネン種雌ヤギの顕著な発情が見られません。

秋になってから急激に乳量が減りましたがどんな理由が考えられますか。平成 30 年５月に１頭を出産（２産目）し、生まれた雄ヤギは母ヤギと同居しています。（岩手県）

お 返 事：（今井）　暑熱ストレスによる夏バテが最も大きな要因として考えられます。

搾乳ヤギの暑熱ストレスについての文献は欧米にはたくさんありますが、日本では報告が少ないので乳牛の夏バテとその対策が参考になります。ヤギはルーメン（第一胃）という大きな発酵タンクで飼料を分解していますが、それに伴う熱産生があるために高温条件下では生理的なダメージが大きく消化機能の減退、栄養摂取量の低下からやがて貧血状態に陥ることもあります。夏場の飼料給与と飼育環境を改善して体力の消耗を抑え、９ 月からの繁殖時期に栄養の補給（フラッシング）を行うことで乳量低下を少なくして良好な発情サイクルを期待できるでしょう。

飼育管理上の改善策として次のように心がけてください。

① 春先に生まれた子ヤギは 2～3 か月で離乳して別飼いする。
② 粗飼料は柔らかくて栄養価の高いものを与える。
③ 餌箱と水桶は常にきれいにする。
④ 風通しの良い日陰を用意する。

お 返 事：（新出）　５歳のザーネン種であれば乳量が期待できるはずですが･･･

不調の原因を考えてみましょう。

① 乾乳期間が短い可能性

初産から 2 産への乾乳期間が 30 日と短いので、ヤギの体力と乳腺細胞が回復せず乳量低下につながっている可能性があります。乳用種では乾乳期間として、体力の回復、乳腺細胞の回復、初乳生産の準備などのために分娩前 60 日間を充てることが必要です。

② 乳腺細胞が栄養不足の可能性

乳腺細胞発達（細胞増殖）に対して栄養不足で乳量が低い。乳房内の細かい乳腺上皮細胞は乳量が低下すると消失します。その消失後、妊娠後期に細乳管の分岐が再び顕著になり、実際にミルクを合成する部位（乳腺細胞）に発達しますが、それには十分な期間（乾乳期間）が必要です。

分娩前に若干の濃厚飼料を給与してエサの栄養価を高めれば、乳腺細胞の発達と同時に第一胃内の絨毛（栄養分を吸収する部位）の発達も促すことができます。

③ エサの量と質が不足して乳量の低下と発情微弱が起こった可能性
乳生産には相当な栄養分が必要になります。この場合、CP（粗タンパク質）と TDN（エネルギー：可消化養分総量）がミルク生産に見合うだけの量が必要になります。乳量に対して、給与飼料の栄養分が不足すると、分娩直後の母ヤギは生理的に自分の体に蓄えた栄養（筋肉、脂肪）を使って子ヤギのためにミルクを出そうとして削痩します。高い泌乳能力を持ったヤギであればあるほど、自分の体を削ってしまいます。しかし、この不足状態が続くと、自分の体を守るため乳量が急激に低下します。この削痩状態になると発情が起こりにくくなります。対応としては、大まかに言えば、泌乳量 1kg 当たり配合飼料 500g 給与が必要です。

④ H30 年夏季の暑熱ストレスにより乳量低下，発情微弱が生じた可能性
猛暑による暑熱ストレスで飼料が十分摂取できず、乳量が抑制された可能性があります。
暑熱期には、ヤギなどの動物は、皮膚表面の毛細血管の血流量を増加させる体表面からの体熱放散や、呼吸数の増加で体温を一定に維持しようとします。その結果、通常よりエネルギーを使ってしまいます。この所作でも正常体温の維持ができない状態が続くと、熱源であるエサの摂取をストップし、体温が上がらないようにするので、乳量が一挙に低下します。また、暑熱期には、起立時間が長くなるため、それだけエネルギーを消費することになります。
このエネルギー不足の状態は、発情がない、発情が弱いという事態を招きます。対応としては、今井さんのご指摘のように、日蔭を作ること、十分な水が飲めること、良質な粗飼料を給与すること、ミネラル（鉱塩）を与えること、濃厚飼料の給与量を増加しエネルギーを与えること、さらに積極的に対応する場合、ヤギの体に散水（出来れば噴霧が効果的）すること、送風することなどが有効ですが、労力、費用で課題もあります。

相談事項：（2019-2）小学校で飼育しているシバヤギが、２月初めに出産予定です。
どのような準備をしたらよいか教えてください。（新潟県）
お 返 事：（今井）　厳寒期の出産ですから小屋を暖かくしてあげましょう。
すきま風を防いで十分な敷きわらを入れ、できれば分娩時に立ち会ってください。

① 出産の兆候：腹部のふくらみが下垂して陰部が緩んできます。そのころには乳房が膨らんで乳頭から乳汁が出るようになります。食欲が落ちてしきりに前足で床を掻いて座ろうとするのは陣痛が始まる兆候です。切わらを入れて乳房をタオルで拭いて清潔な場所で分娩させます。

② 分娩時の対応：破水して分娩が始まったらお湯の入ったバケツと石鹸、タオルを何枚か持っていき静かに経過を見守ります。２本の前足の上に口元が見えれば正常な体位です。これまでの経験では初産の単子で体重が 5.5kg ということがありましたが、助産しないで生まれました。

③ 子ヤギが生まれたら：生み落ちた子ヤギの口元をタオルで拭いてから母ヤギに舐めさせます。次の子ヤギがすぐに生まれると母ヤギが舐めないことがあるので胎膜を拭きとってやらないと体が冷えてしまいます。無事に子ヤギが生まれたら初乳を搾って注射器で 100cc くらい飲ませます。
子ヤギが自力で立ち上がって吸い付いて吸乳するまで見守ります。
初乳は子ヤギに免疫抗体を与えるとともに胎便の排出を促します。出産当日と ２ 日目の初乳が多くて飲みきれないときは搾乳してビニール袋に入れて凍結保存します。凍結初乳は、子ヤギが下痢をした時などに 40℃前後に加温し飲ませると、特効薬になります。へその緒はヨードチンキやうがい薬を使って消毒します。

④ 母ヤギの手当て：母ヤギが子ヤギに授乳するようになったらみそ汁を飲ませます。後産（「あとざん」

と読み、胎盤のことです）が数時間で落ちたら拾って処分しますが、自分で食べてしまうこともあります。後産が長い時間落ちない場合は獣医に見てもらいますが、決して引っ張らないでください。
子ヤギが単子で片方の乳しか吸わないことがあります。乳量の多いヤギの場合は固く張ってしまうので乳房をマッサージしながら絞ってやることも必要です。

⑤ 分娩前後のヤギのエサは良質で栄養価の高い乾草と濃厚飼料（米ぬかやふすまでもよい）と野菜類を忘れずに与えてください。生草や野菜に含まれるβ-カロチンは母ヤギの子宮回復や母乳を介して子ヤギに抵抗力を付与することができます。

２月６日三つ子出産

３月 19 日（生後 40 日）

相談事項：（2019-3）雌のシバヤギ（H25 生まれ）が無事に出産し、乳が出るのか心配です。

H26 年に雄 1、27 年に雄と雌、28 年に雄 1 を産んだ後、28 年 12 月に 4 匹早産、29 年 5 月に 2 匹死産、30 年 4 月に 4 匹早産が続いています。また乳房炎になって治療をしました。30 年 12 月に発情が来て種付けしたので、５月に分娩の予定です。（茨城県）

お 返 事：（今井）　早産死産の要因はさまざまですが、雄雌同居が問題です。

（1）　早産・死産の要因

なぜ早産・死産が続いているのでしょうか。分娩間隔が短いことも気がかりです。
もしかすると親子を一緒にしていつまでも飼っているのではありませんか。雄の子ヤギは去勢していませんね。いくつか原因が考えられます。

① 親子交配（近親交配）
雄の子ヤギは生後 4－5 か月ですでに繁殖能力を有します。去勢するか、母子を別飼いしないと近親繁殖する危険があります。近親繁殖は劣性形質が出現しやすく、胎子が虚弱になることも考えられます。雄子ヤギは 3 か月で離乳できるので、購入先や家畜商に引き取ってもらうようにしてください。

② 授乳中に早期妊娠した場合
シバヤギは季節繁殖性でないので分娩後子宮が回復すればすぐに妊娠することが可能です。授乳で栄養不足になりやすいのに、次の妊娠で胎子への栄養が間に合わず流産や早産することがよくあります。

③ 飼育小屋と他のヤギとの競合
エサをやる場所が狭かったり、エサ箱の数が少なかったりすると頭突きをして争います。一般にシバヤギは除角していないので物理的な衝撃で流産や早産をしてしまいます。

④ ヤギ小屋が不衛生な場合
エサ箱や水桶をヤギ房の中に置いた場合は汚れたエサを食べたり、水を飲むことになります。

また、ヤギ房内も汚れやすく湿った状態になりがちです。不衛生な床の状態ではアンモニアが発生したり、腹冷えを起こしやすくなります。ヤギが下痢をしたり、腹冷えによって腸の働きが悪くなるとエサの消化吸収能力が低下します。

（2）　改善策

① 雄子ヤギは生後１か月で輪ゴム去勢する。
② 生後３か月で子ヤギは離乳して別飼いをする。
③ シバヤギは寒さに弱いから冬に出産しないよう夏の種付けを避ける。
④ 餌箱と水桶は房の外に置き、房内を乾燥した状態にする。
⑤ 有角のヤギ同士が争わないよう房を分ける。

相談事項：（2019-4）緊急の相談です。後産がでません。

昨夜 11 時に 1 頭出産したのですが、今朝になっても後産がでません。母ヤギは横になることが多くお腹もまだ大きいようです。（長野県）

お 返 事：（今井）　すぐに獣医さんを呼んで手を入れてもらってください。

もう 1 頭が体位異常により出ない場合もあります。もしかするとすでにへその緒が切れて死んでいるかもしれません。

相談者からのメール：獣医さんが手を入れたら胎子がいたので助産して無事に雌の子ヤギが産まれました。昨日は運良く農協系の家畜診療所の獣医さんと連絡がつき子ヤギを取り出してもらえましたが、獣医に来てもらえなかったらと想像するとゾッとします。最初診療所に電話をした時には休日だったので事務所の電話がつながらず、獣医さんの携帯番号を知っている人を探し出してやっと繋がりました。自分で手を入れて子ヤギを取り出すという発想は全く浮かばなかったので、来ていただけなかったら月曜日まで待ってからということになり、死産ということになっていたでしょう。運が良かったです。「ヤギと暮らす」には難産の時の対処法が書いてありますが、お腹の中がどんな状態になっているのか全く想像ができないので手を入れて中を探るのはとても勇気が必要です。実技講習会など無理な話ですが、ヤギの友の会会員の具体的な体験談などをお聞きしたいものです。もう 1 頭出産を控えている先輩ヤギがいるのですが、分娩したヤギが先輩ヤギの陰部やお腹にしきりに顔を近づけていやがられています。まるで出産をうながしているかのように見えます。ヤギのいろいろな行動や姿が見られて飽きません。ヤギと暮らすのは本当に楽しいです。

「まっちゃ」の出産

２番目は８時間後に生まれた